

応援隊に入って2年、一緒に始めた仲間、支援センターのスタッフの方々に恵まれて、ボランティア活動ができたことに感謝しています。また、たくさんの活動に触れ、イベントの企画に携わる中で、一人ひとりが外に向かって活動することがいかに生活をゆたかにするかを、教えられました。

ラグビーでよく言われる言葉、“One for all, All for one.” そんな体験ができた2年間でした。ありがとうございました。

そして、いそご区民活動支援センターは「迷ったら、ここに来よう！」そんな場所だと思います。

小谷 輝充さん

磯子区ボランティア応援隊という役目を頂き、この2年間は、磯子デビュー講座で磯子周辺の散策や講義、歴史的史跡など興味深い学習となりました。

またおじゃましま～すの取材では、色々なグループの活動や施設の見学で、様々な体験をさせて頂き、とても楽しかったです。特に印象深いのは、吹矢のグループを見学した時昔を思い出して背筋が伸びる思いがしたことです。新しいことに色々チャレンジ出来たのも、良い経験でした。

鈴木 順子さん

第7期 磯子区ボランティア応援隊 2年間を振り返って



あっという間の2年が無事に過ごせた事、そして皆さんに支えられ色々な活動を見学させて頂き、ありがとうございました。活動に参加されている方は皆さん笑顔で元気でした。私も元気を貰えました。今後は私が何かを見つけて参加したいと思います。

これからは、活動させて頂いたことを活かし、元気で明るく悔いのないように過ごしたいです。良い経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。皆さんとまた会える事を楽しみにしています。

松野 福次さん

2年間の活動で、区内の施設やグループを取材し、記事を書いたり、地域デビュー講座の企画、展示用パネル作成など日常では味わえない体験をさせて頂き、刺激を受けました。後半の1年はコロナ禍で、グループの方々が活動方法を模索するご苦労や、仲間との繋がりを絶やさない努力をされている様子を知る事になり、改めて地域での居場所や仲間作りの必要性を感じました。私も今後、自分なりの形で地域活動に関わっていけたら…と思っています。

最後に、応援隊の活動でお会いした皆様や、支援センターの方々に感謝を申し上げます。

石橋 葉子さん